

## 式 辞

先日の胆振東部震災で被害にあわれた方々のご冥福と早期の復興をお祈りいたします。

当初の入試日の早朝という事もあり、皆さんの動揺は大きかったのではないのでしょうか。

さて、例年にない猛暑、豪雨、地震に見舞われた夏も過ぎ去り、木々の彩りが変わっていく様子が、大通高校周辺にも見られる季節となりました。

今日のおき日に、PAT役員並びに振興会役員の皆様を始め、中央幼稚園園長様と町内会役員のご来賓の皆様、保護者の皆様のご臨席のもと、平成30年度秋季入学式を挙行できますことを心より感謝申し上げます。

さて、先ほど、入学許可を行いました新入生の皆さん、そして、転入編入で入学する皆さん、十年前に初代守屋校長は、『何か事情があって学習できなかった人でも、やり直しのできる、人生をリセットできる学校を作りたい』と話し、他の高校とは違う様々なシステムを作ってくださいました。

9月27日の卒業式では6名の卒業生を送り出し、本日は16名の新入生を迎えることも、他校にないシステムの一つです。皆さんはそのシステムのチャンスを自分の意思で挑戦し、選考の結果、見事、選ばれて合格しました。入学おめでとうございます。

本校には、このように様々なチャンスがあります。しかし、そのシステムのチャンスに挑戦するかどうかは、あなた次第です。第三代佐々木校長は、『大通高校は、自分で好きな勉強を自由に選んで学習できるけど、自分でやらなければならない。つまり、自転車で、自分の好きな場所に寄れるし、ゆっくりも早くも行けるけど、自分の脚で漕がなければ目的地に行けない学校なんだ。』と話していました。

回りの人と比較する必要はありません。

相手と同じ場所に寄る必要はありません。

相手と同じペースで漕がなくてもいいのです。

しっかり自分の目標を見て、確実に自分のペースで漕いで進んでください。

札幌はこれから、厳しい冬に向かいます。こんな言葉を紹介します。

『何も咲かない寒い日は、下へ下へと根を伸ばせ。やがて大きな花が咲く。』シドニー五輪金メダリストの高橋尚子の座右の銘です。試合の結果が出なくて辛い時に、繰り返し自分に言った言葉だそうです。人生の中で花を咲かせない時もあるでしょう。そんな時は土台である根っこを伸ばして、栄養をどんどん吸収して力を溜めなさい。やがて、大きく大成するでしょう。

皆さんが、大通高校で様々なチャンスを生かし、根を伸ばし、栄養を吸収し、社会で大きな花を咲かせる準備をしてほしいと思います。

保護者の皆様、お子様のご入学おめでとうございます。高校時代はシチズンシップ教育、つまり、札幌市民として他人を尊重したり、多様な価値を理解したり、円滑な人間関係を築く大切な時期です。そのために、自己肯定感や自己有用感が必要です。

簡単に言うと、自分が必要とされている、役に立っている、愛されていると感じることが大切です。

『ポジティブな会話』、

『栄養と愛情のある食事』、

『安心して休める寢床』の提供をよろしく申し上げます。

さあ、生徒の皆さん、今、保護者の方にもお願いしました。地域の方も見守ってくれています。本校の職員も全力で皆さんを応援します。ちえりあ講座で札幌市民も一緒に教室で学びます。明日からの高校生活を自分のペースでしっかり歩いていきましょう。

平成三十年 十月 五日

市立札幌大通高等学校 校長 佐藤昌弘